

2009年7月1日

塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」が『東京スカイツリー®』に採用

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村 和彦）は、『東京スカイツリー®』（建築主：東武タワースカイツリー株式会社、施工者：株式会社大林組）に使用される塗料に高耐候性塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」が採用され、供給を開始したことをお知らせします。

「ルミフロン®」は、当社のフッ素化学技術により、1982年に世界で初めて商品化された溶剤可溶性塗料用フッ素樹脂です。屋外でも長期間劣化しない高い防食性、耐候性を持ち、塗装後20年以上経過した施工事例も多く、高層ビルや海上長大橋・煙突などの大型構造物から航空機、車輛など幅広い分野でお客様から高い評価と信頼を頂いています。



[東武鉄道株式会社・東武タワースカイツリー株式会社提供]

『東京スカイツリー®』は、電波塔としては約610mと世界一の高さとなることから、使用される塗料には長期的な防食性、耐久性が要求されます。当社の高耐候性塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」は、発売以来多くの施工実績を残し、その優れた性能が評価された結果、最も耐候性に優れたフッ素樹脂塗料の原料として、このたび採用が決まりました。

AGCグループは、高い断熱性を持つエコガラス「サンバランス®」、斬新なデザインを可能とするフッ素フィルム「アフレックス®」、高耐候性塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」等建築物用部材を数多く取り揃えており、今後もガラス・化学の総合力を活かし、高品質且つ環境負荷低減に貢献する製品を開発・供給していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕

(担当：若杉 TEL：03-3218-5259、E-mail：info-pr@agc.co.jp)

以上